


整理No. 2018-74		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2018年 7月 26日(木) 10時 00分 天候(-) 温度(- ℃)湿度(- %)			
災害区分		不休災害		休業災害(休業:一日)	
被 災 者	部門	技術		雇用形態 正社員(派遣、契約、その他(構内委託))	
	年齢	24 歳	性別: (男) 女	勤続年数	— 経験年数 —
	傷病名	太腿部薬傷(約1cm)			
	傷病部位	太腿部			
災 害 発 生 状 況	メスプラスチックへ濃硫酸を計り込んだ後、安全ピペッターを交換するため、安全ピペッターを外したところ、ガラスピペットの外部に付着していた濃硫酸が太ももに滴下した。太ももを現認したところ直径1cm程度の薬傷が見られたため病院で受診した。			状況概略(写真orイラスト)	
					
	災害の型 ^{※1)}	8. 有害物との接触		作業の形態: (定常)、非定常、その他()	
起因物: 濃硫酸			特記事項		
原 因 分 類	1. 人的要因(man)				
	着席の状態で作業していたことにより可動範囲が狭くなっていた。				
	2. 物に関する要因(machine)				
	—				
3. 環境要因(media)					
サンプル数が多く、作業スペースが確保できていなかった。					
4. 管理的要因(management)					
ピペッターの使い方が不慣れだった。					
対 策	①着席状態での作業は行わず、立った状態で作業を行うように変更した。				
	②整理整頓の実施、作業前にスペースが確保されていることを確認する。				
	③ピペッター取扱い方法について手順書で教育を実施。				
	④毒劇物取扱いに関する教育を実施。				
対策分類 ^{※2)} : 1-1安全情報、1-6教育					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)